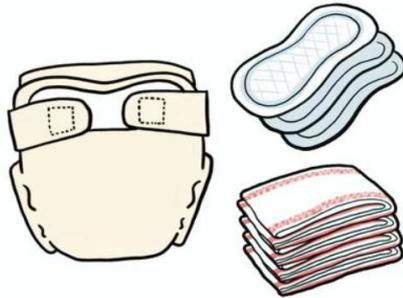


## ●2025年4月より、レンタル布オムツについて●

費用の一部は園で負担し、保護者負担額は月2,500円です。  
布オムツだけでなく、オムツカバーレンタルでき、料金に含まれます。  
オムツカバー・布オムツともに、持ち帰りや洗濯の手間がありません。

★参考：現在0才 3,520円、1才 2,420円(4月より歳児別の料金区分なし)



### みんなの森福祉会 法人誌 Vol.41 より

#### 私たち法人で布オムツにこだわるのは～トイレ・トレーニングは育児の始まり

ある高齢者施設では紙オムツにより認知機能が衰えるため、出ているかいないかを聞いてオムツを替えるようにしている。出ていなければトイレに誘う。排泄は自分の意志で行うことで認知症の進行を防ぐのだそうです。

これは育児にも共通していると思いました。紙オムツはどのタイミングで替えるのでしょうか。出したその時ではなく大人都合です。つまり子どもの生理に添って替えてはいません。「おしっこをしたら気持ち悪いね。すぐ替えようね。」が本来の育児ではないでしょうか。気持ちが悪い(不快)を感じるのは紙オムツでは無理です。「いつもサラサラ気持ち良い」が紙オムツのうたい文句ですから。子どもが自分で「おしっこが出て気持ち悪い」「替えよう」と思うようにあえて布オムツを勧めるのはそのためです。大人は子どものその気持ちを理解すること。このことが「親」に育つ第一歩となります。



#### レッツ トイ・トレ「大人の押し付けでなく子どもの意思の尊重」

私たちの保育園では0才で布オムツをスタートし、歩行ができるようになると布パンツにします。おしっこを漏らすことを前提としてです。出た時に子どもも大人もすぐわかり、すぐに替えてあげることができるからです。同時にオマルに座ることも勧めます。大人の都合でなく子どもの生理にそった時に座らせます。起床時、昼寝後、食事後、入浴前の裸になった時。先に出るか聞いて「でない」と言ったら無理強いはしません。漏らしても叱らないのがポイント。「出たい時、教えてね」と伝えます。その内、漏らした時に「出ちゃった」と教えてくれるようになります。やがて出る前に「おしっこ出る」と言えるようになります。1歳代でパンツの着脱も自分でできるように促せば、おしっこで濡れたら自分で脱ぎます。2歳で走り回り会話もできるようになれば、上記の働きかけがあった子は布パンツでお漏らしなく過ごせるようになります。子どもの意思でオシッコする。人権教育の土台でもあります。たかがオシッコ、されどオシッコ。親子の幸せな関係作りを！